

稲城市都市計画マスタープラン(素案) ご意見と市の考え方について

意見募集期間：令和4年12月5日(月)～12月19日(月)

意見提出方法：直接持参、郵送、ファクス、申し込みフォーム(インターネット)

意見提出人数：6名(22件)

※ご提出いただいたご意見について、個人が特定される恐れのある情報は加工しておりますのでご了承ください。

	ページ	行	記載内容	ご意見	市の考え方
1				<p>家を購入する前に稲城という街の存在が知らず、住んでみましたが、稲城の空気や稲城の景色や稲城なしなど日々癒されてます。</p> <p>南山においては新しい地域ですぐに発展していくとは思いますが、盗難事件や不審者情報、暴走族のバイク音の音が聞こえるなど、安全面では非常に不安です。</p> <p>そこで、南山に警察交番を設立してください。稲城駅周辺で目立つ交番がなく、安全安心な面はとて不足です。いろいろな面から見ても警察官は居てほしいです。</p>	<p>今回の都市計画マスタープランの見直しに伴い、安全・安心まちづくりの方針において、防犯の視点を追加しています。</p> <p>市内では、土地区画整理事業による新市街地が形成されてきていることから、地域のニーズを踏まえた交番等の配置について、関係機関と調整を進めてまいりたいと考えております。</p>
2				<p>【意見①】平尾団地商店街に観光施設を設置し少子高齢化対策をしてください。</p> <p>【理由①】平尾団地の高齢化の理由は、平尾に若者の目を引く観光施設が無いからです。</p>	<p>現在、平尾団地(分譲)において建替えの検討が進められています。</p> <p>今後、建替えによる創出用地では、「平尾団地の将来まちづくり構想」に基づき、既存のセンター地区と連携し、地域活力を生む商業・生活サービス等を誘導してまいりたいと考えております。</p>
				<p>【意見②】平尾の入定塚児童公園に観光・防犯看板などを設置し少子高齢化対策をしてください。</p> <p>【理由②】入定塚児童公園などの看板に暴走族の落書きがあるのは、「防犯カメラ作動中」などの看板が無いからです。</p>	<p>犯罪に強いまちづくりには、住民、学校、警察、市役所などの関係者による、地域の様々な団体が連携した活動が重要となります。</p> <p>防犯パトロールの実施や地域安全情報の発信、地域コミュニティの防犯意識向上による「地域の目」での予防活用等の対策を検討してまいりたいと考えております。</p>
				<p>【意見③】平尾の入定塚児童公園に有料駐車場を設置してください。</p> <p>【理由③】入定塚児童公園などは違法駐車が多すぎです。公園エリアの真ん中に無駄な芝があります。民間会社のコインパーキングなら全てを運営してくれます。税金の無駄です。有料駐車場を作ってください。またこの地域は駐車場が少なすぎです。</p>	<p>平尾入定塚児童公園は街区公園として、周辺住民の身近な公園として位置付けられています。</p> <p>身近な公園については、市民ニーズにあわせた施設の整備・改善を進めてまいりたいと考えております。</p>
				<p>【意見④】高齢者などの買物難民や孤独対策としパソコン家庭教師・設定業者を誘致してください。</p> <p>【理由④】高齢者などがネット通販で購入や対戦将棋などを出来るようにすれば、感染・認知症予防にもなります。</p>	<p>平尾団地(分譲)の建替えにより、「平尾団地の将来まちづくり構想」に基づき、既存のセンター地区と新たな創出用地と連携を図り、高齢者にも配慮した、地域活力を生む商業・生活サービス等を誘導してまいりたいと考えております。</p> <p>また、平尾団地は駅から離れた拠点であることから、交通結節点の機能を強化し、交通利便性の向上を図るとともに、高齢者の外出を促すことを検討してまいります。</p>
				<p>【意見⑤】平尾団地内の昔の児童公園だった廃墟をゴルフ練習場などの運動公園にしてください。</p> <p>【理由⑤】特に恋人が集まれば平尾団地の少子高齢化対策になります。平尾は無駄に児童公園が多すぎです。子供が遊んでいる姿あまり見ません。平和児童公園は遊具が無いのに児童公園という名も変で、ここは人目の無さという誘拐リスクと文化センターなどの児童施設の多さなどから、公園名は運動公園の方が良いです。</p>	<p>平尾団地(分譲)の建替えにあわせ、子どもから高齢者まで憩い、楽しむことができるように改善・充実を図られるよう、調整してまいりたいと考えております。</p>
				<p>【意見⑥】平尾の遺跡である御座松塚や縄文遺跡の近くに観光看板や公園を設置してください。</p> <p>【理由⑥】今の若者は昔と違いネットで情報に詳しいので、歴史をよく知っています。</p>	<p>地域の歴史的・文化的資源の継承を図り、地域の歴史・文化をテーマとしたまちなみづくりを検討してまいりたいと考えております。</p>
				<p>【意見⑦】平尾団地に周辺の大学・高校生などが入居できるように、高齢者も買物しやすくするために、団地の1階にはコンビニや通販なども出店や置き配場所の設置も可能にしてください。</p> <p>【理由⑦】スーパー閉店で移動販売車をとという意見もありますが、過去にもそういうのはありましたが、現在無いのが答えです。スーパー出店も移動販売車も在庫リスクがあるので企業は倦厭しているでしょう。</p>	<p>今後、平尾団地(分譲)の建替えによる創出用地では、「平尾団地の将来まちづくり構想」に基づき、既存のセンター地区連携し、地域活力を生む商業・生活サービス等を誘導してまいりたいと考えております。</p>

				<p>【意見⑧】複合施設ふれんど平尾の個人使用を可能にしてください。</p> <p>【理由⑧】ふれんど平尾を見ると使用者が少ないように思えます。これは例えばスポーツジムのようにし、使用料は子供は無料にし、市内の大人は1時間100円で市外は300円などにすれば良いと思います。</p>	<p>都市計画マスタープランに関連する内容ではございませんので、担当課にお伝えさせていただきます。</p>
				<p>【意見⑨】平尾団地内にある公園のような公園名の看板などが無い場所に公園名を命名すべきです。</p> <p>【理由⑨】公園名が無いと万が一「うちの子供が●●公園で誘拐されたかもしれない」と警察などに、通報がしづらいです。観光上も無名だとネットで良い公園だとクチコミもしづらいです。</p>	<p>平尾団地内にある広場は、市所有・管理しているものではございません。</p> <p>平尾団地（分譲）の建替えにあわせ、防犯の視点も取り入れ、子どもから高齢者まで憩い、楽しむことができるように改善・充実が図られるよう、調整してまいりたいと考えております。</p>
				<p>【意見⑩】平尾団地商店街にガンダムなどで観光誘致する娯楽施設を作れば少子高齢化対策になります。</p> <p>【理由⑩】平尾は若者が集まる新百合ヶ丘が近いので、平尾こそ観光に力を入れるべきです。また平尾団地商店街にガンダムの軍人将棋が若者と高齢者で出来るようなゲームセンターや、現地のみで販売のガンダムグッズや稲城特産の梨ジュースなどを作り販売をしても良いでしょう。今は白湯が売れているという若者も高齢者も濃いより薄味な健康ブームなので、紙パック入りな梨ジュースです。更に周辺の古沢などでも農業が盛んなので、無人コンビニな野菜直販所を作っても良いでしょう。</p>	<p>今後、平尾団地（分譲）の建替えによる創出用地では、「平尾団地の将来まちづくり構想」に基づき、既存のセンター地区と連携し、地域活力を生む商業・生活サービス等を誘導してまいりたいと考えております。</p>
				<p>【意見⑪】平尾団地内の杉山神社の近くの無名公園の運動器具よりも、懸垂器や運動公園を増やしてください。</p> <p>【理由⑪】懸垂器はネット通販で購入すれば1万円弱と安値で購入できますので、節税になります。平尾は児童公園や高額そうなスプリング遊具が多すぎです。懸垂器があれば裕福ではなく中央公園などに行けない小学生から大人でも近所の公園で、医療税節税な健康維持やプロ選手などになれる、運動も毎日出来ます。杉山神社の近くの無名公園の運動器具は足の訓練用が多いですが、これは器具がなくてもストレッチ運動などで出来ます。圧倒的に少ない器具は懸垂器などの上半身です。ふれんど平尾や平和児童公園などでロッククライミングが出来るようにしても良いでしょう。またYoutubeなどの動画では、電柱で危険に懸垂したり、公園の木をボクシングのサンドバッグ代わりにする、器物破損行為をしています。これは運動公園やふれんど平尾や団地の1階などに安値なスポーツジムを作るなどで改善されます。</p>	<p>身近な公園については、市民ニーズにあわせた施設の整備・改善を進めてまいりたいと考えております。</p>
3	P76	中心地区 (3) 将来の生活像	<p>駅間を結ぶ道路には間に川や大きな幹線道路があるため、移動が阻害されないように立体的な歩行者専用道の整備も検討してはどうか。(イメージとしては多摩センターや若葉台のような街の顔となるくらいのもの)</p>	<p>中心地区を実現するには、多3・4・15号線の整備が必要不可欠となり、本路線を整備する際には様々な整備手法を検討することになるため、その際に、ご意見の立体的な歩行者専用道については必要性を含めて検討をするものと考えております。</p>	
	P78	① 土地利用の方針 ～回遊空間～	<p>中心地区の回遊空間あたりは地区計画が未整備です。都市計画道路の沿道をまちづくりの方針に合わせて開発していくために、「地区計画・土地区画整理事業の活用」を方針としてはどうか。</p>	<p>ご意見のとおり、当該地区は地区計画が未整備であることから、中心地区の実現を図る土地基盤整備の進捗に応じて、土地利用の見直しを見据えた用途地域の変更や地区計画の指定などを行う必要があると考えています。</p> <p>分野別構想の土地利用の方針において、各都市拠点においては、都市基盤整備の進捗に応じた土地利用の見直しによる用途地域や地区計画等の変更を行うとしております。</p>	
	P99	向陽台地区、百村地区	<p>都市拠点として百村は堅台以外は向陽台との一体感があまり感じられない。「沿道」も鶴川街道を指しているのではないようなので百村（堅台）と記載してはどうか。</p>	<p>向陽台地区・百村地区の住宅施策の推進方針において、地域の高齢化の進展を見据え、高齢でも住み慣れた地域で安心して暮らせるように、福祉施策と連携した、住民によるコミュニティ活動などを通じた高齢者の自立支援や地域包括ケアシステムなどの充実を図るとしており、百村地区にある特別養護老人ホームの活用なども考えられることから、堅台地区に限定しない記載としております。</p>	
4			<p>(自転車に依る対人事故防止の提言)</p> <p>近年自転車の対人事故が多発しているとの事。互方の重症化及び死亡例等があり、裁判所の判決で数千万円の賠償金という記事を目</p>	<p>自転車の安全対策等につきましては、分野別構想の道路・交通ネットワークの形成方針の中の、「「自転車のまち稲城」の推進と安全で安心な自転車利用環境の</p>	

				<p>にしました。その事に依り、加害者及び被害者共にその後の人生に多大な苦痛が発生しているとの事です。(大変傷ましい事です)</p> <p>そこで、その様な不幸が少しでも減る事を願い、次なる提案をさせていただきます。</p> <p>【A案】</p> <p>市内の自転車所有者全員にハンドルにリンリンと音が出る鈴を取り付ける事を義務化する事。</p> <p>(効果)</p> <p>歩行者は当然自ら前方よりの自転車を認識でき、注意を払う事ができますが、問題は後方から音も無く走行して来る自転車を認識できず、歩行中に左右チェンジ時のタイミング等時に追突されてしまう事です。私も歩行中に何度か危険な目に合った事があります。</p> <p>【B案】</p> <p>自転車走行者及び同乗者(小児)のヘルメット着用の義務化。</p> <p>(効果)</p> <p>自転車事故で一番危険な事は、追突及び転倒で頭を強く地面(コンクリート)に打ちつける事で重度の後遺症が残る恐れがある事です。</p> <p>以上2点を稲城市の条例と定め、違反者には罰則金として数万円(例 2~3万円)を課します。少額の数千円ではあまり効果は期待できないと思います。バンクーバーの自転車走行者は子供も大人も全て全員がヘルメットを着用しており、全部の道ではありませんが、歩道ではなく自転車専用レーンを走行しておりますが、日本では道幅の関係上難しいでしょうネ?以上の提案を市条例として制定できるか否かは警視庁と協議が必要があらう事と思いますが、不幸な事故が無くなる様に、そして稲城市が住み易い安全な町になり他の市町村のモデルになる事を強く願い、以上の提案をさせていただきます。</p>	<p>形成」に記載しております。</p> <p>自転車を利用する上では、学校、家庭、地域等が自転車利用の安全性や教育を進めるとともに、交通安全意識、ルール・マナー向上を図る啓発活動、事業者との連携による安全点検の実施など、自転車の安全利用の促進を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>なお、道路交通法の一部改正(令和4年4月27日公布、令和5年4月1日施行)により、全ての自転車利用者に対し、乗用車ヘルメットの着用の努力義務が課せられます。</p>
5	P46	23行目	<p>第4章 分野別構想</p> <p>3.環境まちづくりの方針</p> <p>○環境負荷軽減に向けた新たな取り組み</p> <p>■住宅における高断熱化や太陽光発電設備など、市民の創エネ・省エネ機器の導入等の支援を検討します。</p>	<p>第4章 分野別構想</p> <p>3.環境まちづくりの方針について賛同致します。</p> <p><意見></p> <p>住宅においては、太陽光・太陽熱などの再生可能エネルギー設備と合わせて、気象等の条件に影響を受けにくい「家庭用燃料電池や蓄電池等」の導入促進を図り、災害時においても自宅で生活を継続できる生活環境を整えることで在宅避難を推進していくことも可能になると考えます。</p> <p><理由></p> <p>防災対策と両立できる環境負荷軽減機器の導入を推進することにより、P26「第2章 まちづくりの課題 (5) 自然災害や犯罪等への対応」■災害への対応に記載がある「自助・共助」により被害を軽減するにまちづくり」に繋がると考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、再生可能エネルギー設備と合わせて、気象等の条件に影響を受けにくい「家庭用燃料電池や蓄電池等」の導入促進を図るとともに、災害時の在宅避難の推進も含めて考えていくことは重要と考えております。</p> <p>安全・安心まちづくりの方針において、市民が災害への危機意識を持ち、自助・共助の力を向上させていくことが必要不可欠としておりますので、在宅避難も含めて、災害時における市民の意識向上を図ってまいりたいと考えております。</p>
	P60	7行目	<p>第4章 分野別構想</p> <p>5.安全・安心まちづくりの方針</p> <p>○防災活動拠点や避難所等の防災機能の充実</p> <p>■市役所及び消防庁舎、上平尾消防出張所、市立病院、稲城長峰スポーツ広場防災倉庫を防災拠点と位置づけ、災害時には、市役所及び消防庁舎に災害対策本部を置き、災害対策活動や情報収集・伝達などの総合調整を行う司令塔として、坂浜平尾地区の防災拠点である上平尾消防出張所、災害拠点病院である市立病院、緊急支援物資の荷捌き置き場等となる稲城長峰スポーツ広場防災倉庫を活用し、防災機能の充実に努めます。</p>	<p>第4章 分野別構想</p> <p>5.安全・安心まちづくりの方針について</p> <p>賛同するとともに以下について追記のご提案を致します。</p> <p><意見・追記提案>(左記下段)</p> <p>■防災活動拠点や避難所等、重要な公共施設には、72時間を超える長期の停電に対する備えとして、自立・分散型エネルギー電源の導入など、自立化・多重化によるエネルギーの確保を検討します。</p> <p><理由></p> <p>・防災活動拠点や避難所となる重要な公共施設には、働く職員や避難された市民の方へ安全で安心かつ平常時の日常生活に近い環境を提供することが重要だと考えます。</p> <p>・大規模停電発生時の災害対策本部等の機能確保と、72時間を超える長期の停電に対する備えとして、災害時のみならず、通常時においても活用できる高効率で環境にも優しいコージェネレーションシステムなどの自立分散型エネルギーの導入を検討し、電源の自立化・多重化によるエネルギーの確保を図ることが重要と考えます。</p> <p>・防災・減災対策との横断的連携により推進する施策については、非常時だけでなく平常時から使用するというフェーズフリー*の考え方を含む多角的な視点から検討するなど柔軟な考えを取り入れていく必要があると考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、災害時の備えとして、長期の停電への対応は重要でございます。稲城市地域防災計画との整合を図り、以下の文言を追加いたします。</p> <p>「■防災活動拠点や避難所等には、長期の停電に対する備えとして、自立・分散型エネルギー電源の導入など検討します。」</p>

				* (フェーズフリー：日常的に使用・提供している施設機能や市民サービス、システムなどを平常時だけではなく災害時等の非常時においても利活用できるよう整備してくという考え方)	
P66	27 行目	<p>第4章 分野別構想</p> <p>6. 住宅施策の推進方針</p> <p>○脱炭素社会実現に向けた環境へ配慮した住まいづくり</p> <p>■脱炭素社会の実現に向けて、住宅におけるCO2排出量を実質ゼロとするゼロエミッション化を目指し、創エネ・省エネ・再エネ住宅の普及促進を行います。</p>	<p>第4章 分野別構想</p> <p>6. 住宅施策の推進方針</p> <p>○脱炭素社会実現に向けた環境へ配慮した住まいづくりについて賛同致します。</p> <p><意見></p> <p>脱炭素社会の実現に向けては、創エネ・省エネ・再エネの普及に加えて、防災性の向上についても重要であると考えます。防災性(停電への備え) 向上に向けた取組として、太陽光発電や風力発電のような再生可能エネルギーの導入も有効ですが、気象等の条件に影響されることから、再生可能エネルギーとの親和性が高い自立発電機能付き家庭用燃料電池等の導入促進を図り、防災性を高めることで、在宅避難を推進していくことも可能になると考えます。</p> <p><理由></p> <p>(前述 P46 3. 環境まちづくりの方針 同様)</p>	<p>ご意見のとおり、再生可能エネルギー設備と合わせて、気象等の条件に影響を受けにくい「家庭用燃料電池や蓄電池等」の導入促進を図るとともに、災害時の在宅避難の推進も含めて考えていくことは重要と考えております。</p> <p>安全・安心まちづくりの方針において、市民が災害への危機意識を持ち、自助・共助の力を向上させていくことが必要不可欠としておりますので、在宅避難も含めて、災害時における市民の意識向上を図ってまいりたいと考えております。</p>	
P79	31 行目	<p>第5章 拠点別構想</p> <p>○中央地区(活力創造拠点)(稲城長沼駅周辺地区、稲城駅周辺地区、行政ゾーン)(5)整備方針</p> <p>⑤安全・安心のまちづくりの方針</p> <p>■行政ゾーンの市庁舎や消防庁舎は防災活動拠点として位置付けられており、災害時には災害対策本部として、消防、防災活動、情報伝達、救助活動の中枢的な役割を果たします。また平常時においては、防災に関する広報・教育・訓練などの活動の場とし、予防対策を実施するとともに、資機材の充実を図ります。</p>	<p>第5章 拠点別構想</p> <p>○中央地区(活力創造拠点)(稲城長沼駅周辺地区、稲城駅周辺地区、行政ゾーン)(5)整備方針 ⑤安全・安心のまちづくりの方針)について賛同するとともに以下について追記のご提案を致します。</p> <p><意見・追記提案>(左記下段)*P60 同様</p> <p>■防災活動拠点等、重要な行政ゾーンには、72時間を超える長期の停電に対する備えとして自立・分散型エネルギーの導入など、電源の自立化・多重化によるエネルギーの確保を検討します。</p> <p><理由></p> <p>災害時に災害対策本部となる行政ゾーンは、働く職員や避難された市民の方へ安全で安心かつ平常時に近い環境を提供することが重要と考えます。災害による大規模停電発生時の災害対策本部等、災害対応拠点の機能確保と、72時間を超える長期の停電に対する備えとして、災害時のみならず、通常時においても活用できる高効率で環境にも優しいコージェネレーションシステムなどの自立分散型エネルギーの導入を検討し、電源の自立化・多重化によるエネルギーの確保を図ることが重要と考えます。</p>	<p>ご意見のとおり、災害時の備えとして、長期の停電への対応は重要でございます。稲城市地域防災計画との整合を図り、以下の文言を追加いたします。</p> <p>「さらに、長期の停電に対する備えとして、自立・分散型エネルギー電源の導入など検討します。」</p>	
6			<p>稲城市全体の発展ではなく、若葉台だけに力を入れて、他のエリアを切り捨てている感じが気になります。今後、若葉台以外は老朽化してゴーストタウンにされてしまわないか不安です。若葉台が中心地にあるなら問題ありませんが、ほぼ川崎や永山にある若葉台を発展させても、永山と川崎の人に恩恵があるだけで、肝心の稲城市民の大部分に恩恵がないのに、若葉台だけに力を入れる意味がわかりません。むしろ若葉台以外の稲城市の人は若葉台だけの発展に怒っていて「稲城駅前も開発すると言ったのに若葉台ばかりでおかしい。若葉台では絶対に買い物しない、行かない。若葉台に行くなら調布や府中の方が近いから行く」と言って不満を持っている方が非常に多いです。稲城駅前を多摩センター駅前や南大沢や昭島のような感じに(デパートや大型の商業施設は無理だと思いますが)駅前をレンガ調の遊歩道や花や芝生がたくさん花壇や花畑などの公園などで洗練された明るい住宅街の駅前のような感じに整備して、若葉台駅前を永山のようにすれば、市民間の不仲や不満も起こらなかったと思います。また若葉台は投資目的でマンションを買っている方が多いので、売却時の時のことを考えて、向陽台、稲城駅前、稲城長沼、南山、矢野口やよみうりランド前が発展するのを不満に思って、若葉台エリア以外の稲城市が廃れることを望んでいる意見も何度か見たことがあり、不快で心配です。多摩市も調布市も府中市も市民全体が駅前の発展、繁栄を望んでいて市民全体が仲良しなのに、稲城市だけは同じ稲城市民同士なのに若葉台と稲城市で主張が違い、不仲なのは問題があると思います。5中と6中がすごく競い合っていて、不仲なのも有名です。若葉台の価値を高める為に向</p>	<p>稲城市のまちづくりは、多極ネットワーク型のコンパクトなまちづくりを進めており、各都市拠点において様々な人々の交流を生む拠点間の連携の促進を図ることとしております。</p> <p>若葉台駅周辺につきましては、現行プランにも多摩ニュータウン稲城地区の玄関口となる広域的な拠点(広域連携拠点)として位置付けられており、多摩ニュータウン事業により都市再生機構等が所有していた大規模な土地の貸借・処分が進み、商業や業務系機能を軸に多様な都市機能が立地してきました。</p> <p>今回の見直しにあたり、まちづくりの課題として、賑わいのある拠点整備を挙げておりますので、若葉台駅周辺に限らず、中心地区(稲城駅周辺・稲城駅周辺・行政ゾーン)、レクリエーション拠点(京王よみうりランド駅周辺・ジャイアンツタウン構想周辺)、生活拠点(矢野口駅周辺、南多摩駅周辺、向陽台地区、長峰地区、平尾・坂浜地区)の各都市拠点においても、地域の特色を活かしたまちづくりを進めるとともに、日常生活をサポートする拠点として、地域に密着した生活サービスやコミュニティ活動の場となる土地利用の誘導やまちづくり活動を促進し、地域の賑わい・活力の創出を図ってまいりたいと考えております。</p> <p>併せて、市域全体を見渡し、多摩丘陵の豊かな緑の保全や良好な都市景観の維持などにも引き続き努め</p>	

	<p>陽台を若葉台として紹介しているメディアなどにも不満があります。せっかく同じ稲城市に住んでいるのに利害の関係で市民のエリアごとに不仲で足の引っ張り合いのような感じは見ていて残念な気持ちになります。これから南山の発展とともに稲城駅前を中心街らしく昭島や多摩センター駅前のようにして、若葉台は若葉台の人が生活に困らないように永山駅前位の発展にすれば、地域ごとの不仲も収まる気がします。調布が駅前の再開発を成功できたのは、もともと調布の人はお金を使わない人が多いから、再開発をしてもすぐ閉店して失敗する。だから23区のお金を使う人達が引っ越してくるよう成功できたからだと言いました。その他にも調布駅前を廃れさせないように市民全体で駅前を盛り上げましょうと宗教のようにまとめていたり、調布市出身の芸能人を徹底的に応援していて、ケラケラというバンドの為に調布駅前の広場に特設ステージを作り、定期的にゲリラライブをやっている、調布市の小学生たちが「今日は調布出身のケラケラが駅前で無料でライブするから放課後に応援に行かなきゃ」などと言っていて、市民全体で有名になるのを応援しています。他にも学童や児童館や小学校のアルバイトも教員免許や保育士の資格がなくても調布市在住の芸人の卵やバンドマンや大道芸人にして、グリーンホールで小学生と保護者を招待してライブを開催したりなどして、調布市出身の人がスターになって高田純次のように調布市を宣伝してくれるようにバックアップしたり、凝ったことをしています。かなり細かくユニークな戦略を持って、用意周到に再開発しているから、稲城市もそこは見習ったほうが良いと思います。梨が美味しく、緑が豊富で綺麗な街並みの稲城市が大好きなので廃れてゴーストタウンにならないように市政頑張ってください！！</p>	<p>てまいりたいと考えております。</p>
	<p>あと自転車置き場が足りないのと置き場の代金の値上がりの改善希望です。稲城駅前の自転車置き場は7時間超えると今まで100円だったのが400円になっていました。南多摩駅前も400円でした。かなり負担が大きいので100円に戻してほしいです。</p>	<p>都市拠点における交通結節点では、地域ニーズや利用者状況に応じ、駐車場・駐輪場の整備、シェアサイクルポートの充実等を推進してまいりたいと考えております。</p> <p>公益財団法人自転車駐車場整備センターが運営している稲城駅北口自転車駐車場や南多摩駅東・西自転車駐車場については、一時利用（当日1回）110円としております。民間施設の駐輪場の料金設定については、基本的に市では指導できる立場にはございません。</p>